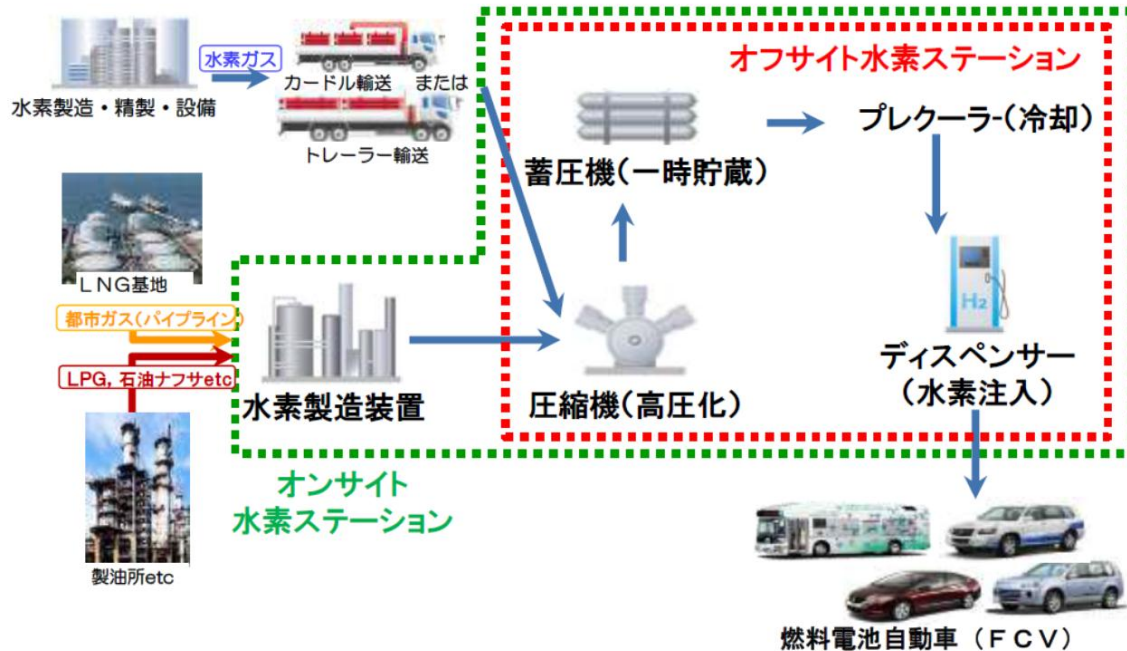


事業概要

- ・水素と酸素の化学反応で発電し、モーターで駆動する燃料電池自動車が、世界に先駆けて日本より発売が開始
- ・水素については、様々な課題があるが、水素利活用技術の適用可能性は幅広く、多岐にわたる分野での、エネルギーセキュリティの向上、環境負荷低減に貢献
- ・水素・燃料電池関連の市場規模は今後大きく拡大することが見込まれ、この市場への県内企業への参入は大いに期待できる
- ・そこで、初期需要創出のために、県が公用車として率先導入、水素ステーションの整備費補助の支援策を講ずることとする

水素ステーションの構成機器(概要)



水素ステーション整備費 5.6億円

- ・水素製造装置 1.0億円
- ・圧縮機 1.4億円
- ・蓄圧機 0.5億円
- ・プレクーラー 0.3億円
- ・ディスペンサー 0.6億円
- ・その他 0.6億円
- ・工事費 1.2億円

(METI燃料電池推進室資料
及び事業者ヒアリング)

